

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	韓国語Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0106		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	一般科目		対象学年	5	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	朴大王・李賛任『韓国を体感♪すぐに見える 韓国語入門』(白帝社)				
担当教員	牧野 雅司				
到達目標					
1 初級朝鮮語文法を理解する。 2 日常会話の基礎を身につける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	初級朝鮮語文法を正確に理解した。		初級朝鮮語文法をほぼ理解した。		初級朝鮮語文法をあまり理解できなかった。
評価項目2	朝鮮語日常会話の基礎を正確に理解した。		朝鮮語日常会話の基礎をほぼ理解した。		朝鮮語日常会話の基礎をあまり理解できなかった。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (E)					
教育方法等					
概要	<p>【授業目的】 朝鮮語で基本表現を読み、話せるようにすることを目的としている。後期は基本文法をさらに学習し、応用力を身につける。</p> <p>【Course Objectives】 The purpose of learning the Korean language is to understand culture, customs and life in Korea through speaking simple expressions.</p>				
授業の進め方・方法	<p>【授業方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に沿って授業を進め、適宜プリントを配布する。</li> <li>・自らの口で発音し、自らの手で作文することを重視する。</li> </ul> <p>【学習方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業ごとに課題を出すため、必ずやっておくこと。</li> <li>・音声教材を必ず事前に聞き、授業に臨むこと。</li> </ul>				
注意点	<p>【成績の評価方法・評価基準】 成績評価は、中間および期末試験の結果により評価する(100%)。試験時間は50分とする。到達目標の習得度を評価基準とする。</p> <p>【備考】 毎時間必ず教科書を持参すること。</p> <p>【教員の連絡先】 研究室 B棟3階 (B-309) 内線電話 8903 e-mail: m.makino@maizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。)</p>				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	シラバス内容の説明	1, 2	
		2週	実用会話3 勧誘	1, 2	
		3週	実用会話4 疑問詞	1, 2	
		4週	応用会話1 経験・否定形	1, 2	
		5週	応用会話2 仮定・条件	1, 2	
		6週	応用会話3 依頼	1, 2	
		7週	応用会話4 位置名詞	1, 2	
		8週	中間試験	1, 2	
	4thQ	9週	応用表現1 過去形	1, 2	
		10週	応用表現2 進行形	1, 2	
		11週	応用表現3 未来・意志	1, 2	
		12週	応用表現4 連体形①	1, 2	
		13週	応用表現5 連体形②	1, 2	
		14週	応用表現6 連体形③	1, 2	
		15週	まとめ、質疑応答	1, 2	
		16週	(15週目の後に期末試験を実施) 期末試験返却・達成度確認	1, 2	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0